結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会事務局発行
第五号　発行日　平成一七年七月八日
甲府市北口一―二―一九
甲府地方法務局人権擁護課内

県連合定時総会開催さる

山梨県人権擁護委員連合会の今年度定時総会が、去る五月十九日、甲府市のベルクラシックにおいて開催された。

当日は、午前中県ネットワーク主催の人権啓発講演会が催された。講師は元内閣官房参与の中山恭子氏、「拉致問題にかかわって」と題しての講演であった。日本国民が拉致されたことは、日本の政府が冒されたことである、という認識のもとに、政府が北朝鮮と交渉に当たったその厳しい状況を生々しく語った。氏は国連改革欧州諸国大使としてウズベキスタン共和国の問題にも関わって来て、そこでの貧しい地域の子ども達が売られてテロリストとなっていく状況について語り、ホールを埋めた約五百人の聴衆は熱心に耳を傾けていた。

昼食をしながらの県連懇親会では、胡弓と琴の演奏を楽しんだ。

午後の総会には、人権擁護委員が百五十余名出席、来賓として甲府地方法務局長、県知事、甲府地方裁判所長、検察庁検事正、山梨県弁護士会長、及び県連参与、山梨県企画部県民室長を迎え、まず感謝状、表彰状の贈呈が行われた。続いて議事に入り、昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算案等が承認された。次いで県連合会慶弔規程が提案され、規程の文言について意見が出されたが、趣旨は大方の委員の理解を得て承認された。

協議会だより

☆甲府協議会

甲府協議会の定時総会は、四月二十一日、山梨県立文学館において開催された。来賓祝辞、新任委員紹介、所管事項説明などの後、議事に入り、提案は承認された。弔意規程も承認され、四月二十一日から施行されることとなった。

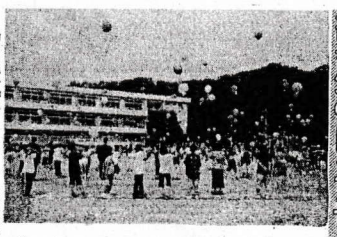
☆都留協議会

都留協議会の定時総会は、四月十九日、富士河口湖町役場において開催された。当日は富士桜の満開の良い日で、富士山も美しい姿をみせていた。人権擁護委員四十一名が出席、議事は滞りなく承認されて、新体制で出発することができた。

☆峡南協議会

峡南協議会の定時総会は、四月二十六日、三珠町総合福祉センターにおいて開催された。今年度の事業計画では、啓発活動の一環として、小学生を対象とした「人権教室」を秋に予定している。これは、一つの町単位での企画ではなく、峡南地区全体の小学生を視野に入れての活動である点が注目される。

歓声あげる子どもたち



五月から六月にかけて、今年も「人権の花」運動が実施され、県内十七の小学校に花の苗と、風船に結んだ花の種が贈られた。

贈呈式では、人権擁護委員から人権尊重の趣旨の話があり、それに応えて子どもたちの挨拶。グループに分かれて、プランターに苗を植える子どもたちと一緒に、委員の先生方もシャベルを持つ。花の種とメッセージをつけた風船を手に持って、合図で一斉に飛ばす。風船は空高く舞い上がり、子どもたちは大きな歓声をあげた。

甲府市の山梨学院大学付属小学校には、その日の夕方に、茨城県の方から花の種とメッセージを拾ったという電話があった由。子どもたちは「やったー！」と歓声をあげたとの報告もある。埼玉県、静岡県の方々からも子どもたち宛の手紙が学校に届いている。

山梨から飛んできたんだね

花の種を拾った茨城県の早乙女春美さんからこんなすてきなお手紙が来ました。

私は、みなさんが風船で送ってくれた花の種を拾ったおばさんです。

ここは「茨城県」という所で、みなさんの所からどれくらい遠いのでしょうかね。私は白菜とすいかとなすを作っている農家のおばさんです。家の裏の畑に行ってみたら、しぼんでしまった紫色の風船がおちていました。拾ってみたら小さな手紙と花の種がついているではありませんか。「まあすごい。山梨の方から飛んできたんだね」と、びっくりしてしまいました。

拾ったのは二十六日だったので、五日間もひとりで、夜もねないで、ずーっととんできたんですよね。おばさんは風船に「えらいねえ、よくがんばってきてくれてありがとう」と言いました。東京タワーをこえたり、いくつもの川をこえて、みなさんのこころと花の種をもってフワフワ、フワフワと飛んできてくれたんですね。うれしくなって、おばさんはすぐに種をまきました。今、小さな緑色の芽が出てきました。みなさんのように小さくて、かわいくて、元気いっぱいの芽です。おばさんも大きく育つように見守っていきたいと思います。みなさんも元気で強い子どもになるよう勉強も運動もがんばってください。茨城の空から応えんしています。

人権擁護課の飯室さん退職

明朗な人柄と精力的な仕事ぶりで委員会を支えてこられた飯室さん。退職に当たって、お別れのメッセージをいただきました。

人権擁護課に勤務して、はや七年。この度、主人の転勤のため、六月いっぱいで退職することになりました。転勤先は、アメリカのボストンです。秋には家族で渡米する予定です。

人権擁護委員の方々には、公私共々いろいろとお世話になりました。今後も「自主運営」などの課題はあるかと思いますが、先生方の持ち前のパワーで乗り越えていけると信じております。

「一生勉強」ある委員の方から聞いたこの言葉を胸に、新天地で頑張っていきたいと思います。先生方も、くれぐれもお体を大切に。またお会いできる日を楽しみにしております。

6.1 特設相談の結果

人権擁護委員の日に、各市町村で受け付けた相談の内容は下記のようであった。

住居、生活の安全関係	１６件
プライバシー関係	２件
家族間の強制、強要	２件
差別待遇	１件
その他	２２件

退任された委員の方々

平成十七年四月から六月までに次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。

（敬称は略させていただきます。）

深澤　昂　窪田良弘（北杜市）矢崎忠義（笛吹市）樋口美代子（塩山市）志村常雄（南アルプス市）原田正子（鰍沢町）笠井節子（六郷町）高山三千男（西桂町）落合桂（上野原市）

なお、加々見治代委員（富士吉田市）は四月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

事務局から

☆七、八月の夏祭りで啓発活動が行われます。

七月二十九日から三十一日　甲府市
七月三十日　小淵沢町
七月三十一日　南アルプス市
八月十五日　南部町

なお、都留協議会では、ほとんどの市町村で夏祭り啓発活動を行います。

☆人権作文は九月九日が応募締め切りで、十月に県大会審査の予定です。

編集後記

今年は戦後六十年という節目の年、「人権」という言葉がどれだけ私たちの意識の中に生きているかを改めて考えます。自主運営も三年目に入り、また一歩前進できると信じて活動に当たりたいものです。

委員から一言

少年少女発明クラブで

上平聖道

「先生って優しいんだね。」カレンとアキが話しかけてくる。二人は小学5年生のクラブ員だ。「一生懸命の子には応援したくてね、カレン君。」ふざけて返事してみる。「ぐんじゃないよ！私たち女だもん。」即座にアキからの抗議だが、二人とも何食わぬ顔で鋸と格闘中だ。

性差の問題など昔話だったのか…と錯覚するようなひと時だ。